



天野進吾が視る。語る。今日のできごと。まつりごと。

ホームページを見てください <http://www.amano-shingo.info>

## 天気晴朗なれども波高し・・・小嶋市長の健闘を祈る

8日の投票によって小嶋市政の継続が決定しました。

小嶋市長にとっては、確かに「薄氷」の上に立っての向う4年間の任期ではありますが、政令指定都市とは名ばかりの脆弱な都市環境であれば、相当に果敢で積極的な行政運営が俟たれるところでもあります。市職員はじめ関係者のご健闘を先ずもって期待いたしますし、私も折にふれて、発展のための提案、或いは苦言をも含めて遠慮なく申し上げて参りたいと存じます。

### 都市人口の減少

3月13日の静岡新聞に掲載されましたので案内かと思いますが、静岡商工会議所と静岡大学の共同研究の成果として、紙面では2050年の本市の人口は現在を100とした場合、実に48に激減すると指摘されているところでもあります。

勿論、近年のわが国の人口動態はいよいよ東京や名古屋、大阪などの大都市へ集中しているところでありますがそれにしては本市が急激に人口減少をきたすというデータは驚きのものでもありません。

更に憂うるところはこの数値に前々回のSHINGO-SCOPEにも触れておきましたが、今、安倍内閣が策している「道州制」問題をこの共同研究の基礎資料が反映しているのか疑うものであります、恐らく具体的方向も定かでない「道州制」の現在の段階ではこれを無視しての研究であったと思います。

だとすればこの研究成果は本市にとって一層、穏やかさる指摘と言わざるを得ません。

正直云ってこの度の統一地方選挙において、とりわけ、市長選挙にこの静岡商工会議所の「研究発表」および安倍内閣の重要テーマである「道州制」問題が全く論外に置かれてきたことに、私は心底驚きといった次第でありました。

### 大御所の「宴のあと」に齎されるもの

今年「大御所400年」ということで、「朝鮮通信使」など様々な企画が準備されており、

家康が駿府に居住した時代、即ち、一六〇七

### 今一度、出口調査について物申す

以前、このスコープで既に慣習的に行われている投票日の「出口調査」について私の意見を披瀝しておきましたが、この度の市長選挙にも出口調査が引き起こす弊害が顕著に現れましたので、再度、警鐘する次第であります。

実は、今回の市長選挙においては、投票日だけの出口調査だけでなく、「期日前投票」においても行われたようでした。そしてその調査内容は携わった報道関係者から全て選対関係者に伝えられていたとのことでした。当然のこと選対に関わる人々にとってそれが緊迫したものであればあるほど、厳しい手段が取られるところとなります。例えば、持てる組織をフル動員しての電話戦術、未投票者への便宜

年一六一六年の大御所時代の駿府は江戸20万、大坂15万に次ぐ第3の都市であったが、その50年後には僅か3万余の城下町に沈んでいった歴史を私は厭が上にも髣髴するのであります。

この街の歴史は例えば地政学的にも天然資源においても、恐らく日本の如何なる地域に比較しても恵まれた環境の中にあつたと云わざるを得ないのであります。にも拘らず、その歴史は自分たちが築いたものではなく、「よそ者」と呼ばれる人々によって構築されてきたのでした。

いつの間にか「待てば回路の日よりあり」の諺が市民の思考となり、何時かは誰かがやつてくれるという甘えから一日も早く脱却することこそ、本市の将来があると知るべきでしょう。

など様々な手法が展開していききました。その結果……

### 「出口調査」は何のため?

NHKは何の疑問もなく次のように回答するのでした。当然の事だが視聴者に早く選挙結果を知らせるためであり、それが「公器」としての義務であると。

しかし、私はその回答は極めて浅薄な判断だと敢えて糾弾しておきます。

開票率1%の段階で当確が打たれ選挙事務所では秀囲気なしの「万歳」が、報道陣の要望に応じて演技する、こんな選挙速報に市民の関心はさらに削がれることとなります。

調査結果が悪用され、更に選挙の関心を削ぐ事につながる「出口調査」は早々、法律で禁止すべきものと敢えて提言させて戴きます。

# 車町・大鋸町・大工町・研屋町など職業の地名

表題に羅列した地名は一目瞭然、職業を表す地名です。

平成3年の高校総体の際、本市を訪れた皇太子殿下との昼食会の席上、侍従が地図を片手に「この街は、職業の地名ばかりですね」と言いながら私に近づいてきました。市中心部の地名は成程、他都市に比較できないほど職業を明示できるものが多く見られます。

標記の地名は本市中央部の代表的な職業を表す名前であり、今更に説明も必要としませんが、その殆どは大御所時代の繁栄を今日に伝えるものと言えます。

車町とは云うまでもなく駿府城の築城に際して、資材の運搬に必要な牛飼(今日の運送業)を京都から呼び寄せ、この地に住ませたことからこの地名があります。

また、築城には様々な技術者が必要でした。例えばこの牛飼いを住ませた一角には愛知県の渥美半島から三州瓦の職人を呼び寄せ住ませたのでありますが、毎日、谷津山の麓まで通つての瓦製造は不便であることから一帯現在の瓦場町に引越してしまつたのであります。

それ故、瓦場町の地名が誕生し、更にはこの地域に「渥美」姓が多い

のも、後に苗字が一般化した折、出身地の「渥美」を姓としたからであります。なお通車町の名は本通りに近い車町というそれまでの「通称名」が明治22年の市政施行時に正式の町名となつたのであります。

大鋸町、「鋸」は「のこぎり」を意味します、即ち木挽き(製材)を業とする人々の町であることを表します。

大工町、駿府城の御用職人としての大工さんの町、彼らは特別の扱いで諸役御免、勤労奉仕など一切が免除されていました。

研屋町、家康が京都から研師を呼びよせ、ここに住まいさせたことからこの名前が付きました、また研師も諸役御免の恩典が付与されておりました。

この他にも職業を町名にしている町は少なくありませんが、またの機会に致します。



## 感謝

### “ありがとう、最高得票”

4月8日投票の県議選に際し、多くの皆様から暖かなお心の証として素晴らしい成績のもと、当選できました事、改めて感謝申し上げます。

私にとりましては14回目の選挙になります、この度の選挙期間中は、辻々で本場に多くの皆様から私達の選挙車に向かつて励ましの声、迎えや声援を頂いてまいりました。

これまでの長い政治活動において、世辞もなく、媚びることなく、わが人生を頑固一徹とも言えるほどに信念を貫き通してきました、その私に熱い支援をお送り続けて頂いた皆様に衷心よりお礼申し上げます。

これからも、与党の立場であればこそ、「歯に衣着せず」自身の考えを堂々主張して参りますので、今後ともご指導賜りますようお願いいたします。

ありがとうございました。

## 記時彩

### ～ゴールデンウィークのお天気～

休日、いつも以上に天気が気になる人も多いはず。特にゴールデンウィークともなれば、お出かけに天気が大きく影響してきます。

好天で好調になるのは、テーマパークなどの屋外施設、鉄道、高速道路(遠距離利用)など。逆に、水族館、都市ホテル、スパなどの温浴・娯楽施設などは、天候が悪くなるとむしろ人出が多くなるようです。おもしろいところでは、悪天候だと車での遠出が減るため、自動車トラブルが減り、JAFの出動回数が減るといった報告もあります。

ちなみに東京の過去30年における連休の天気出現率は、連休前半に雨の確率が高く(40%程度)、後半が低くなっています(30%程度)。中でも5月2日、5日、6日が五月晴れになる確率が高くなっています。

晴れでも雨でも、せつかくのゴールデンウィークを存分に楽しみたいですね。

### 歴史講座のお知らせ

町内会の集会、サークル活動などに天野進吾を呼んでみませんか。嬉しいことに最近、グループや町内会などで『天野進吾』の歴史講座の要望が増えて参りました。

このSHINGO-SCOPEの郷土史が好評です。その現れかもしれません。どうぞ、お気軽にお声掛けください。